

指定管理者評価表

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立美原文化会館	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の創造及び振興に寄与すること	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
平成27年4月1日から令和2年3月31日まで（5年間）	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">・貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関すること・ホールなどを活用した文化芸術振興事業を行うこと・施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること・消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備えること・市から貸与を受けた備品を適切に管理すること・利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行うこと・自主事業に係る業務に関すること	
(7) 有料施設の有無	
有（利用料金制）	
(8) 公募・非公募の別	
公募	
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標	
SAYAKAホール	

2 管理運営状況

(1)特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

堺市立美原文化会館運営委員会の設置や、美原区の地域振興団体の行事等との協働など、地域コミュニティを大切にしながら事業展開を行い、市民ニーズを反映した管理運営を行っている。

(2)利用者サービス

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者名	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団
ア 利用者数 (人)	143,663	134,063	135,685	131,637	
利用者数の算出方法	文化芸術振興事業、自主事業、貸館事業等で美原文化会館を利用した人数				
市による状況分析	新型コロナウイルス感染症の影響により前年に比べて減少した。				
イ 稼働率 (%)	66.3	69.5	69.1	68.5	
稼働率の算出方法	ホール及び生涯学習施設(諸室)等における指定管理者主催事業や貸館事業等による稼働率				
市による状況分析	新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、前年度に比べ微減にとどまった。目標である75%には届かなかった。				
ウ 利用者満足度 (%)	96.2	97.0	95.0	97.0	
利用者満足度の測定方法	主催事業の入場者及び貸館利用者合わせて357人からアンケートを回収し、5段階評価のうち3(普通)以上を満足として測定				
市による状況分析	市が求める目標である90%を常に上回っており、適切な管理運営を図ることができていると考える。				

(3)管理体制等

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ア 職員数(人) ※各年度4月現在	10	10	10	10	10
イ 職員研修(回) ※令和元年度は予定回数	9	10	15	9	9
ウ 要望、苦情等(件)	1	1	1	1	—
エ 事件、事故等(件)	0	0	0	0	—
市による状況分析	重大な事件・事故等なく管理運営できている。				

(4) 収支状況(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	指定管理料	87,300,000	87,300,000	87,269,376	87,266,699	90,000,000
	利用料金	22,718,910	22,678,060	21,459,440	21,623,835	22,881,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	2,199,013	4,408,478	5,149,797	4,656,231	6,758,000
合 計		112,217,923	114,386,538	113,878,613	113,546,765	119,639,000

イ 支出	人件費	32,566,284	34,483,330	36,521,770	36,442,350	35,424,000
	委託料 ()内は総支出額 に占める委託料の割合	17,432,394 (15.8%)	19,920,524 (17.2%)	20,682,812 (16.5%)	20,084,472 (17.9%)	18,995,000 (15.9%)
	修繕費	853,848	1,089,200	954,840	710,204	1,500,000
	光熱水費	28,116	14,957,880	14,606,721	12,012,220	16,500,000
	その他経費	59,143,311	45,048,855	52,560,203	43,162,984	47,220,000
合 計		110,023,953	115,499,789	125,326,346	112,412,230	119,639,000
利用者一人当たりの支出額		444	494	519	483	—

ウ 収支差額	2,193,970	-1,113,251	-11,447,733	1,134,535	0
--------	-----------	------------	-------------	-----------	---

エ 市への納付金の額	0	0	0	0	0
------------	---	---	---	---	---

オ 徴収委託の場合 の徴収額	—	—	—	—	—
-------------------	---	---	---	---	---

市による状況分析	新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、夏季における利用料金の増加や経費の削減により黒字に転じた。
----------	--

■ 自主事業 (有)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	2,941,740	2,426,402	2,603,545	3,917,513	3,888,000
イ 支出	4,678,261	3,328,438	2,616,898	4,191,226	4,027,000

ウ 収支差額	-1,736,521	-902,036	-13,353	-273,713	-139,000
--------	------------	----------	---------	----------	----------

エ 市への納付金の額	0	0	0	0	0
------------	---	---	---	---	---

オ 事業数(回)	7	6	6	7	
----------	---	---	---	---	--

カ 参加者数(人)	3,035	2,803	1,796	2,048	
-----------	-------	-------	-------	-------	--

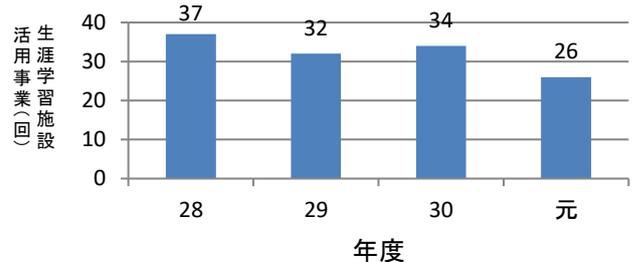
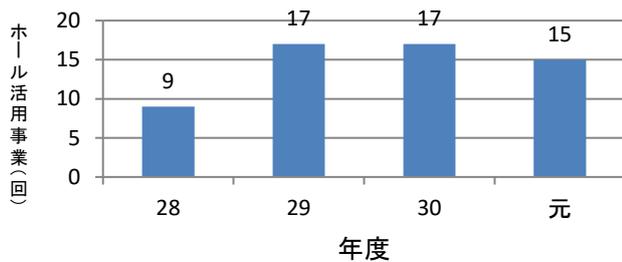
主な自主事業	ハワイアンフラフェスティバルin美原、文化講座、自動販売機管理運營業務 など
--------	--

市による状況分析	支出が収入を上回る事業が多く、赤字で推移している。
----------	---------------------------

3 目標管理、評価等

(1)適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	①ホール活用事業：「鑑賞型」「参加型」「普及型」公演事業の年間実施回数 ②生涯学習施設活用事業：年間実施回数	(設定理由) 市民文化の創造及び振興に寄与するための施設としての適正な管理運営の確保を評価する指標であると考えられるため。
	目標	①6回以上 ②12回以上	(設定理由) ①2ヶ月に1回②月1回程度実施するものとして目標値を設定している。
	実績	①15回 ②26回	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 目標を大幅に上回った。



平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	点検結果報告書等による指摘箇所があれば早急に対処するなど、施設・設備の管理業務を十分に果たすよう努めた。
---------------------------------------	--

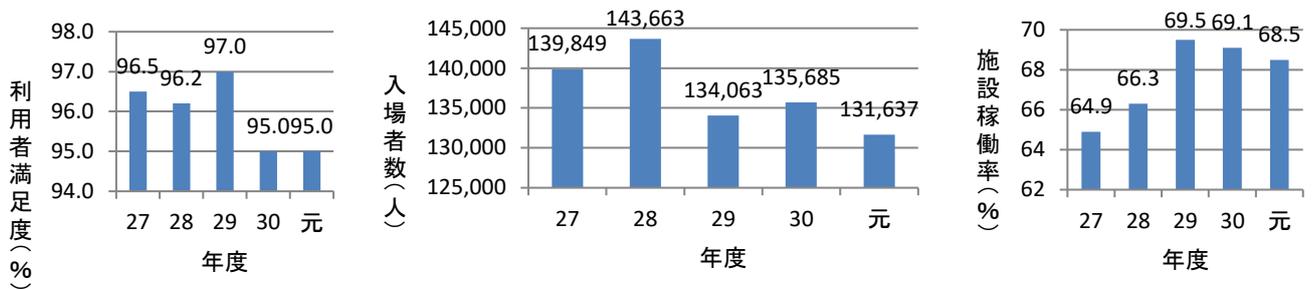
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし
-----------------------	------

評価等	指定管理者の自己評価	市の評価	
	評価	A	B
	具体的な理由	事業回数は前年度からは減少したものの、目標は大幅に上回った。ホール活用事業では、鑑賞型や育成型など幅広い事業を実施するとともに、生涯学習施設活用事業では、地域の歴史・文化を再認識できる講座を実施するなど地域会館として市民文化の振興を図った。	著名なアーティストによる鑑賞型事業やミュージカルに出演する子どもたちを募集する育成型事業など幅広い事業を展開した。また、ホール及び生涯学習施設活用事業ともに市が求める目標を上回った。
対応策等	地域の文化芸術振興の拠点として、①「青少年の文化芸術活動への参加促進及び発表の場を創出」②「社会包摂関連事業」③「地域の子どもと高齢者の世代間交流の促進」の3点を最重要テーマに掲げ、効果的な事業を実施する。	子どもや若い世代がさらに参加しやすい企画を展開するよう工夫するとともに、今後も地域に根付いた事業を実施されたい。	

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	①利用者満足度 ②入場者数 ③施設稼働率	(設定理由) 施設の利用し易さ、又は施設で行う事業の魅力 力を反映しやすい指標として考えられるため。
	目標	①90% ②10万人 ③70%	(設定理由) これまでの実績を踏まえた目標値を設定している。
	実績	①95% ②131,637人 ③68.5%	(分析) 稼働率を除き、目標を達成することができた。 ※目標未達成時は詳細な原因分析 稼働率については、地域との連携等により利用促進を図っているものの、目標未達成であった。



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項

地域コミュニティにおいて会館事業の利用促進をはかるため、美原区自治連合会へ協力を求め、事業チラシの回覧を依頼した。

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応

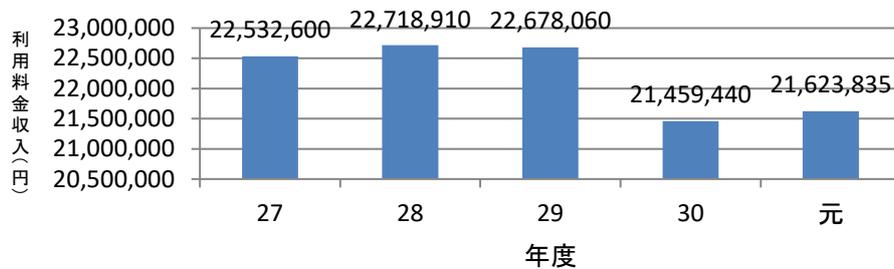
利用者のニーズに応えられるよう、部屋の空き時間を利用して付帯設備や備品の使用方法についての研修を行い、スタッフの技術向上に努めた。

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	A	評価	B
	具体的な理由	文化芸術振興事業「夏井いつき句会」「小野リサコンサート」、自主事業「きくち体操」が各500枚強のチケット売り上げを達成。入場者増に大きく貢献した。 また、「満足度」「入場者数」とともに目標値をクリアしたものの、「施設稼働率」は2月～3月の新型コロナウイルスの影響により7ポイント程減少した。	高い水準の利用者満足度を得るとともに、目標を上回る入場者数を確保することができた。また、施設稼働率は目標に届かなかったものの、時間単位で利用できる制度の効果等もあり、生涯学習施設の稼働率を向上させることができています。	
対応策等	“ウイズコロナ時代”の中で、感染リスクを徹底的に排除することにより、「安心・安全な会館」の運営を行いながら、利用者満足度や入場者数、施設稼働率の増加につなげる。	低調なホールの稼働率向上に向けて、より幅広く利用してもらうための工夫を検討されたい。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	利用料金収入	(設定理由) 指定管理者において営業努力が反映されやすい指標のひとつとして考えられるため。
	目標	22,500千円	(設定理由) これまでの実績を踏まえた目標値を設定している。
	実績	21,623,835円	(分析) 新型コロナウイルス感染症の影響により貸館のキャンセルがあったことから目標を達成することができなかった。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項

稼働率の低かった講座室を平成28年度から時間単位で利用できる制度に変更したところ、稼働率が向上した。また、委託業務の業者選定や仕様の見直しによりコストの削減を図った。

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応

特になし

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		A	
	具体的な理由	R元年度上半期は稼働率、それに伴う利用料金収入も好成績を達成。しかし、R2年2月～3月の新型コロナウイルス感染症の影響等によりキャンセルや還付が相次いだ為、予算額に達しなかった。		友の会やアルテメールを刊行し、広報に力を入れ利用促進を図っている。また、経営の効率化を図るため、委託業務の仕様の見直しを行うことで支出を抑えるなど、管理コストの削減に努めていることは評価できる。	
対応策等	「新型コロナ感染拡大防止への万全の取り組みと安心・安全な管理運営」をSNS等で積極的に発信することにより、とりわけ、ホール貸館事業において堺市外からの新規利用者の開発にアプローチする。		利用者がリピーターとして定着してきているが、新規顧客の開拓や、利用者ニーズにより一層応える新たな取組みを検討されたい。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80～100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの